

セクシュアリティ・ジェンダー —— 舞踏の場合

國吉和子

〈はじめに〉

考察の対象とする舞踏作品は、舞踏が発生した初期にあたる1950年代後半から1960年代に発表された作品に限定した。この時期に見られる特徴は、土方巽が舞踏家として舞台上で踊っていた時期であること、また舞踏は未だ表現のスタイルを定着する前であること、さらに、土方自身セクシュアリティを強く意識したエロティシズムに作品の根柢を見出そうとしていた時期である、という3点である。土方の作品はその後、1968年の「土方巽と日本人——肉体の反乱」公演を境として大きく作風が変化している。しかし、セクシュアリティとジェンダー、この二つの視点から考えてみると、この変化の根柢が、すでにこの初期の舞踏の傾向に潜伏していると思われる。

〈男性性の強調〉

郷里秋田でノイエ・タンツ系のモダンダンスを習っていた土方が上京し、50年代前半に舞踊団の一員として舞台出演した頃、土方は主にジャズダンスを踊っていた。そこで彼はモダンダンサーとしてデビュー後、及川広信作品、武智鉄二作品、米山ママコ作品などに共演して踊るが、いずれも若い細身の男性舞踏家として強烈な印象を与えている。1959年の「女流アヴァンギャルドの会」の中で、特に女性ダンサーとの共演・演出作品で、土方は男性性の象徴として登場している。堂本正樹の「降霊館死学」で登場した土方を堂本は「男のセックスをそのまま固めたような男」と表現している。土方は身体の硬さ、硬直した美しさに男性的な美しさを見出していたようで、この美学は1968年の「肉体の反乱」で結晶することになる。

〈タブーの侵犯〉

一方、60年代初頭にかけて土方の作品では、当時の日本社会のタブーに触れる作品をさかんに発表していた。59年の全日本芸術舞踊協会の新人舞踊公演で発表した「禁色」は、大野慶人との共演だが、長時間暗闇のままの舞台からの性的行為を暗示するような喘ぎや音が聞こえ、生きた鶏を股間で徐々に絞めてゆくというシーンなどがあったため、物議をかもした作品となった。同年発行された「現代舞踊」Vol. 7-10には、問題作品のタイトルは伏されたものの、早速「性（セックス）舞踊について」と取り上げられ、評論家の江口博、景安正夫、舞踊家の山田五郎の共同執筆で、露骨なセックスの描写からは何ら芸術的感動は生まれない、既成の舞踊のカテゴリーを破壊、否定する

ものだ、と厳しく批判している。細江英公の映画「へそと原爆」では、身体のある中心にある触れてはいけない臍と、原爆を対比させている。また、こうした公演の際に美術家によって製作されたさまざまな記念品には、枕本を連想させる豆本型のプログラム（池田満寿夫）、打ち菓子の木枠で作られたエロティックな形の砂糖菓子（加納光於）などの撒き物などがあつた。また、花柳病患者や犯罪者も舞踏家にとっては、イメージの源泉と映るのであつた。

これらはいずれも性的なタブーに触れるものであり、土方はそれをあえて劇場の中に侵入させた。そのために引き起こされる、人々の戸惑いと拒絶、共感と無視隠蔽など、土方のDance Experienceの会に始まる暗黒舞踏派は、性的な表現をすることが目的ではなく、タブーに触れる表現をこの時期、殊更に取り入れて作品を作っていたということに注目したい。

〈アンドロギニユスの登場〉

「禁色」「バラ色ダンス」などの作品に代表される男色、「半陰半陽者の昼さがりの秘儀」ではアンドロギニユス（両性具有）とトランスベスティズム（女装癖）のダンサーが登場する。

土方は二十歳の頃すでに、大野一雄の舞台を見て強い衝撃を受けているが、上京後1958年頃から共演するようになった。1960年の「土方巽Dance Experienceの会」で、女装した大野に、ジャン・ジュネの作品に登場する男娼を踊らせ、それ以後、このデイヴィーヌは大野の当たり役となった。翌年の土方のDance Experienceの会は、「聖ジュネと故お京にこの小品を捧げる」と記されているが、このお京とは新宿の男娼だということ。

大野と並んで、笠井穀によるアンドロギニユスの舞踏もまた60年代の舞踏を形成していることを記しておくなければならない。

〈最後に〉

土方はあえてこうした身体に関わる闇の部分に抵触する作品を創ることによって、これまでの、男性的なものと女性的なもので構成された社会構造に根底から疑問を投げかけている。新しい性をもつ身体をつくりあげることによって、身体が取り巻かれている世界の構造を逆に明らかにしたといえるのではないだろうか。つまり、男色やトランスヴェスタイト、アンドロギニユスを捏造しなければ決して見えてこない構造である。この土方の布石の構図は、その後東北歌舞伎と呼ばれる一連の作品で実践された変身する技術に収斂されてゆくと考えられる。（年譜資料1点配布）